



ゆっくり ゆっくり

身近な体験

やっと長い夏の終わりが見え、秋らしい空気となってきました。先月、保育園では夏祭りが行われました。コロナも終息してきて、縮小していた祭りも、だんだんと以前の賑わいを取り戻してきました。『お神輿』を幼児クラスの子どもたちが作って担ぐことになりましたが、『お神輿』を本や、映像でしか見たことがなく、実際に担いだことのある子はいませんでした。イメージを膨らまし完成したお神輿を初めて担ぐとなんだかぎこちない・・・2回目に担いでみてようやく、『わっしょい!!』と声を出し息を合わせて進んでいました。お祭り当日には元気な声を上げながら盛り上げてくれました。

楽しい体験は遊びに繋がります。園庭にあった長い板を2人の子どもが持ち上げると『わっしょい!!ワッショイ!!』と掛け声を掛けて運んでいるのです。掛け声があるだけで、楽しさが変わってきますね。大きい子が担いでいる姿をみていた乳児クラスの子も、真似をして遊んでいたようです。

先日の十五夜でも子ども達のおもしろい発見がありました。月にに関する絵本や話を色々としていくと、子ども達も夜空の月を気にするようになりました。ある時、実際に満月になる前の欠けている月を見た3歳の子どもが「おつきさま、たべられちゃったのかな??」と不思議そうに空を見ていました。2歳の子も、「おつきさままたべちゃった?」「えー!たべちゃったの??」と言うと、「うん!おいしかった」とかわいいやりとりもありました。十五夜の日には、お月見団子も幼児クラスの子が作りました。「きれいな丸になったよー!」と月をイメージして作っていました。年長の子達に『つきへいったうさぎ』という月にうさぎがいるという言い伝えの元となった絵本を読みました。すると、「わたしみえなかった~」「ぼくは見えたよ!!」と自分たちの見た月を思い出しながら話していました。絵本や、話しなどきっかけがある事で、子ども達はイメージを豊かに実体験と結び付けて過ごしていました。

お神輿はちょっと特別かもしれませんが、普段の生活の中でもちょっと子ども目線に立つと、おもしろそうな事はあります。野菜の皮をむいたり、卵を割ってみたり、目に見えるゴミを掃除機で吸ってみたり、半分水遊びしながら泡を出してお風呂掃除してみたり、いつも大人がパパッとやっていることを一緒にやってみると新たな遊びを見つけるかもしれませんよ。『何事も体験』身近な体験が子どもを豊かにしてくれます。映像ではない本物の体験を子どもと探してみてください。

親子で楽しく出来るクッキング

白玉団子

保育園では9月17日の十五夜の日には、3、4、5歳児クラスの子どもがお月見団子を作りました。色々な大きさのまんまるお団子を小さい子たちも食べました。簡単でおいしいので是非お家でお子さんと作ってみてください。



材料

- ・絹豆腐 1丁
 - ・白玉粉
 - ・上新粉
- 豆腐と同じ量

作り方

ボールにすべての材料を入れて、耳たぶのようにべたつかなくなったら、丁度いい大きさに丸めます。沸騰したお湯に入れ、浮かんできたら出来上がり。きな粉や、あんこ、みたらしなどからめて完成です。

保育園であそぼう!!

目の前のお子さんと毎日過ごしている中で、何か悩んだり、困ったりする事はありますか?保育園に遊びにきて同じ年齢のお子さん達の遊んでいる様子を見たり、一緒に遊んだり、給食を食べられる日を用意しました。周りの友達を見てちょっと安心したり、ヒントになったりするかもしれません。相談したいことがありましたらその時にお話もできます。

日時 11月25日(月)
11月26日(火) 9:00~11:30
※お子さんの給食がでます。



受付は11月から開始します。



園庭開放 遊びに来ませんか?

9:00~11:00 } 月~金
15:00~17:00 }

汚れても良い服装 着替え
水分などご用意下さい

電話相談

子育ての悩み、
子どもの発達、
電話相談
してみませんか?

04-2946-3310
(月~金) 9:00~17:00